

広島県中小企業団体中央会 2018年4月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

4月の出荷量は前月比12.4%増加、前年同月比9.1%増加となり、売上高は前月比13.5%増加、前年同月比5.2%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

福山木材協同組合

厳しい状況が続いているが、今後は上向いてくる予想である。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成30年3月の全国の住宅着工戸数は69,616戸で前年同月比8.3%減少
- ・季節調整済年率換算値では89.5万戸(前月比3.4%減少)
- ・利用関係別では、持家は20,576戸で前年同月比4.2%減少、貸家は29,750戸で前年同月比12.3%減少、分譲住宅は19,019戸で前年同月比3.6%減少
- ・木造住宅の着工数は39,736戸で前年同月比4.3%減少
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で9か月連続の減少

<広島>

・広島県内の3月の着工戸数は1,602戸で前年比15.2%増加、このうち持家は393戸で前年比4.1%減少、貸家は763戸で前年比46.4%増加、分譲は445戸で前年比3.3%減少

・県全体の住宅着工動向は前年同月比で2か月連続の減少から増加に転じたが、プレカットが繁忙を極めた昨年後半の勢いはなく、地域別では広島市が着工戸数737戸で23.5%増加、呉市が105戸で200%増加、三原市が102戸で308.0%増加、廿日市市は48戸で50.0%増加となった一方、福山市は320戸で2.4%減少、東広島市は94戸で53.7%減少と地域ごとにばらつきがある結果となった。全体としては全国的に不需要期の中で大きな落ち込みはなく、新年度予算執行への期待感もあるが、将来的に住宅着工戸数の減少が予想される中、経営規模や業態によって景況感に偏りがある聞き取りとなるなど、依然中小会員の経営環境は厳しい。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

各社設備更新時期を迎えた機械が多くあると思うが、設備導入に踏み切る会社とそうでない会社とで大きな岐路となっている。

今は、2020年の東京オリンピックの年度までに設備環境をある程度整え、その後に備えるラストチャンスの時のように思われる。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から特に変化はない。

生産増加への対応として、技能実習生の活用や省人化、能率アップがあげられる。遊休設備を整理し、生産スペースを確保後安価な設備調達をするなど、投資抑制をしなければならない状況である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は全体的に各社良い状態で横ばい傾向にある。

樹脂原材料の値上げが始まっており、各社収益悪化を懸念されている。

窯業・土石製品

窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

30年4月 2,603m³ (前年比18.8%減少)

30年3月 3,157m³

29年4月 3,206m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

広島県鋳物工業協同組合

生産量は増加しており、自動車関連は稼働率が高い。受注高も概ね増加傾向にある。

軋鉄鋼協同組合連合会

鉄鋼など材料の高騰だけでなく、油やコークスなどの燃料も値上がりしているが、価格転嫁が難しい状況である。

一般機器

●一般機械器具

出島工業会協同組合

売上の前月比減少は、新年度に入って受注が落ち着いたためである。

当組合の課題としては、役員の高齢化、世代交代である。

リョービ関連工業協同組合

新卒者、既卒者の採用について、募集をしても採用に繋がらない。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、スポット受注の増減により前月比14.3%減少、前年同月比27.9%増加となった。

国内の工作機械業界の売上は、過去最高で単月で1,800億円超えとなった。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月は、国内の売上が前月比20%増加、輸出が12%減少の結果、前月比4.5%増加、前年同月比6.4%減少となった。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。マツダの国内生産台数が継続して高レベルにあるため、好況を維持

- ・4月の国内自動車販売台数は全需が366千台、前年同月比3.2%増加と7ヶ月振りの前年超え。登録車は前年比0.5%増加と7ヶ月振りの前年超え、軽自動車も7.8%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車は15.6%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・アメリカの3月の全需は1,654千台で前年同月比6.3%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車は同35.7%増加と3ヶ月連続の前年超え

- ・欧州の3月の全需は2,051千台で、前年同月比3.4%減少と3ヶ月振りの前年割れ。マツダ車は同1.7%増加と6ヶ月連続の前年超え
- ・中国の3月の全需は2,694千台で、前年同月比5.9%増加。マツダ車は同1.0%減少と3ヶ月振りの前年割れ
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の3月の海外販売合計台数は138千台、前年同月比9.5%増加と3ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの3月の輸出動向については、輸出台数は前年比2.0%増加と3ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの3月の国内生産台数は、前年同月比1.7%減少と4ヶ月振りの前年割れ

●輸送用機械器具（造船）

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成30年4月の船舶建造許可実績は1隻151,000総トン（前月7隻302,300総トン、前年同月2隻104,500総トン）であった。なお、この1隻は貨物船で輸出船であった。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

当組合の29年度の売上は前年同月比約2%減少。

全体としては、ベッド関係が健闘し、学童デスク関係が苦戦している。リビング、ダイニング関係は5%減少でほぼ前年並みで推移している。

資材の値上げやグリーンウッド法の影響が懸念される。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

大手運送業者の運賃値上げと石油製品価格の上昇から、中小企業はコストアップとなっている。

「資材関連」においては、受注状況は、前年比下振れの予想、受注競争激化が予想される。

「雑貨」においては、地方小売店の販売は低調。日用雑貨は販売苦戦中。

「食品」においては、外食産業向けは前年比減少傾向が継続している。

4月末にイオンのTHE OUTLETSがオープンし、一部組合員の売上は増加したが、影響は限定的である。

小売業側は在庫抑制から小量や頻度発注が多いが、卸業としては多量小頻度の発注が好ましく、小量の場合は運賃負担を求めていく必要がある。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の2月の住宅着工状況は、前年比2.8%減少。内訳としては、持家は前月比11.1%減少、分譲14.9%増加、貸家8.1%減少となり、分譲は増加したが、持家、貸家は減少した。3月の年度末を終え、落ち着いている状況である。民間工事に関しては、夏頃から多少活発になる予想である。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

廃業のため、5月末で1社、6月末で1社脱退。又、5月末で店舗返却のため1店舗閉店する予定である。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国産畳表の販売状況は、依然として伸び悩んでいる。取扱量も減少しているが、4月に入り、受注が増加傾向にある。

中国産畳表についても、年度末は比較的受注は増加したが、前年比は減少している。

化学(パルプ)畳表JIS規格では、堅調に推移している。半畳表はカラーバリエーションが豊富であるため若年層に人気があるが、耐久性については不明である。

小売業

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

4月下旬、広島市西区に大型商業施設の開業を控え、広島都市圏内で大型店舗間の競争に拍車がかかり、販売価格の低下傾向が続いている。

中小小売業、外食業にとっても販売員・従業員の確保に影響を及ぼしており、経営環境に厳しさが増している。

協同組合三次ショッピングセンター

4月の売上は前年比変化なしとなったが、客数は減少している。要因は不明である。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比4.2%減少となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比10.5%減少、冷蔵庫同2.9%減少、洗濯機同3.7%減少、IHクッキングヒーター同2.4%増加、エアコン同3.5%増加となった。

●その他の小売業(燃料)

広島県石油商業組合

3月末から毎週のように仕入価格が高騰している。しかし、小売価格に転嫁出来ていないように見られる。資金繰りも不安である。

例年、大型連休明けは需要が減少するため、販売量の低下を意識しすぎて廉売になりがちである。仕入価格の上昇、原油価格の動向や為替動向も気がかりである。

商店街

●商店街(各種商品小売業)

呉本通商店街振興組合

3月に開催した”まちゼミ”では周知不足もあり、明らかな集客、売上効果はなかったが、お客様アンケート(173件の回答)を集計した結果、呉市内の女性参加者が80%を超え、年齢層は40代~60代が60%、職業と交通手段から、近隣の主婦層(パートを含む)の参加者が多いことがわかった。次回9月の第2回開催の際の参考としていきたい。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比16.1%減少、前年同月比1.2%増加。車検場収入は前月比18.4%減少、前年同月比1.0%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比32.1%減少、前年比3.2%減少となっている。

前月比の減少は、毎年3月の季節的要因である。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

年度末の特需が一段落し、例年5月は閑散期である。残務は期待したほどではなかった。依然、人手不足である。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目について、今月は繁忙期の前月に比べ62.8%減少と大きく減少した。前年同月比もカーテン58.5%減少、敷物56%減少、壁装クロス4.7%増加と3品目合計で39.1%減少となった。

大型物件が一段落し、しばらく低調の見込みである。

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

4月の工事受注件数は、前月比5%減少、前年比17.9%増加となった。

神辺建設業協同組合

新年度に入り、各自治体による公共案件の早期発注が期待されていたが、大型案件の発注が中心で発注件数は各発注機関とも少なく、中小規模向けの工事の減少に景気の鈍化を感じる。5月の連休明けからの発注案件に注目していきたい。

運輸業

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

4月は、3月期末の反動で売上高、収益状況共に前年比減少となった。前年同月比では売上高においては大きな変化は見られなかったが、軽油価格が前年比9円/L～10円/L上昇しており、収益状況は悪化している。

軽油価格は前々年度の同月と比較すると20円/L強上がっており、荷主に対し運賃値上げ又は燃料サーチャージの申し入れをしないと、ドライバー不足と相まって経営環境が不安視される。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

4月の荷動きは、中旬以降は前年同月比増加となった。鉄鋼、鋼材関連の荷動きは変化なく順調である。

広島輸送ターミナル協同組合

今月は、3月の繁忙期の反動で荷動きが悪く、収益状況も悪い。

運賃値上げ交渉に応じる荷主も増えてきたが、中東地域の地政学リスクにより燃料価格が上昇しており、収益状況は改善していない。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

内航輸送に関して、対累計前年比では、特に大きな変化はない。

●その他

不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月は、公的評価、地価公示、相続評価の入金があったため、売上高等が増加、好転した。

前年同月比は、昨年は固定資産標準宅地評価の入金があったが、今年はないためその分売上が減少している。